

2月 図書館カレンダー
CALENDAR

1 土
2 日
3 月 休館日
4 火
5 水 展示 麒麟がくる ▶2月9日まで
6 木
7 金
8 土 14:00～ 楽しいおはなし会
9 日
10 月 休館日
11 火 休館日
12 水 休館日
13 木 休館日 蔵書点検のため休館 ▶2月10日から2月17日まで
14 金 休館日
15 土 休館日
16 日 休館日
17 月 休館日
18 火
19 水
20 木 展示 新生活 ～一歩踏み出すあなたへ～ ▶2月18日から
21 金
22 土 14:00～ 楽しいおはなし会
23 日
24 月
25 火 休館日
26 水
27 木 15:30～ 英語のおはなし会
28 金
29 土

蔵書点検のため休館
休館にともない、特別貸出を行います。

	図書・雑誌	映像資料
実施期間	1月29日～2月9日	2月4日～9日
貸出数	1人10冊まで	1人4点まで
貸出期間	3週間	2週間

※休館中の返却は返却ポストが利用できます。ただし、映像資料、CDなどの付録付き資料、大型絵本、紙芝居、他の図書館から借りた本は開館後に直接窓口への返却をお願いします。

図書館休館日
2/10 [MON.]
2/17 [MON.]

「新生活～一歩踏み出すあなたへ～」

進学や就職、転職など新しい一歩を踏み出す方のための本を集めました。
▶『もっとやりたい仕事がある!』
▶『50代から生半暮らすリフォーム』
▶『大学1年生の歩き方』など

Come on, New Life

新着図書から

『男はつらいよ 50年をたどる。』 **一般書**
▶都築政昭 / 著
▶ポプラ社 (778.2/ツ)
国民的映画はどのように生まれたのでしょうか? 誕生秘話から渥美 清の知られざるエピソードまで、この1冊で映画「男はつらいよ」の世界がわかります。映画公開50周年を迎えた今、改めて寅さんの世界をたどってみませんか。

『戦場の秘密図書館～シリアに残された希望～』 **ティーンズ**
▶マイク・トムソン / 著
▶小国綾子 / 編訳
▶文溪堂 (J010/ト)
シリア内戦の際、政府軍による空爆で完全封鎖されていたダラヤという町で本を集めて命がけて作られた図書館がありました。本は人の心を癒し、励ましてくれるという信念で、戦場の秘密図書館を守り抜いた若者たちの感動のノンフィクションです。

『ふゆのはなさいた』 **児童書**
▶安東みきえ / 文
▶吉田尚令 / 絵
▶アリス館 (E/ヨ)
はじめての冬をむかえたこねずみと、池に住む金魚の友情のおはなしです。「ある さむい日のことでした。」と印象的な一文で始まるこの物語は、読み進めるうちに心があたたまります。大人にも読んでいただきたい1冊です。

第71回 郷土史・風俗
菰野の村芝居
村芝居のはじまり

農村芝居の舞台は神社の物置のような場所でした。しかし、年に一度の鎮守の祭りで芝居が行われる際、村人が集って舞台も息を吹き返します。都会から有名な役者が来ることはありませんでしたが、芝居は村人たちの手で伝承され、舞台は共有財産として大事に維持されてきました。

舞台は設備も充実しておらず、芝居を演じるだけの大きさで、楽屋は舞台の背面にある大部屋だけでした。農村舞台はこのように簡素なものでしたが村の建物の中では決して小さくはなく、舞台から見物席までを含めると村民全員が集まれるかなりの広さの敷地が必要で、そうしたことから鎮守の社の境内に目をつけられたのだと考えられます。そして、若い男女の語らいや村民の結束の場所となり、楽しみや悲しみが生まれる中心ともなっていました。

宝永7年(1710)に庄部に市神を祀り六斎市場を開設しました。神輿の渡御神事を行い、庄部にお旅所を建立して市場の繁栄を祈りました。この祭礼では奉納相撲とともに四瀬古芝居を催した城下町の南瀬古、東町、北瀬古、川原町の四集落が交代で芝居の興行にあたりました。宝暦年間(1751-1761)に復活し、藩主もお忍びで見物しました。明治になると大阪(おおか)などから芝居の一座を組み、巡業に来て村に宿を取り広場、空き地、田んぼなどに小屋を造って喜劇・時事劇を興行しました。また、安来節・浪花節・江州音頭・三河萬歳・尾張萬歳・御殿萬歳・獅子舞も巡業してきました。平野諸雑記抜書によると明治2年(1869)、御領内一般五穀成就の祈願のため、村々思い思いの芝居、曲芸、相撲、芸者の手踊りなどが祭礼中3日間にわたり催されたこと記録があります。また、日清、日露の戦勝祝賀記念にも人形浄瑠璃(文楽)の芝居が廣幡神社で催されました。

廣幡神社の舞殿

町長のひとり語りの The Story of our Mayor



令和2年を迎えて早くも1か月が過ぎましたが、今回は来年度に策定する第6次菰野町総合計画についてお伝えします。

総合計画というと、「聞いたことがない」という方も多いかもしれませんが、これは町として、とても重要な計画なのです。何事も計画的に進めるべきといいますが、それは計画がめざすべき理想・目標の姿とそこに至る道筋を描くものだからです。目標がなければどこに行けばよいかかわらない。目標があっても行き当たりばったりではたどり着けませんよ。行政が事業を行うにもさまざまな計画を策定しますが、総合計画は、もっとも基本的なもので、まさに町全体の理想の姿と、そこに至る方策を示すものです。この方策を実行するために具体的な事業があり、その事業においても総合計画よ

Theme 11 総合計画の策定

りさらに細かい個別の計画に基づいて実施されることとなります。

そして、総合計画は、少子高齢化、人口減少の時代を迎えても、将来にわたって町民の皆さんが安心して住むことのできる、住みよい町づくりを着実に進めるため、住民本位の考えに基づき、町民の皆さんの思いを具体化したものでなければいけません。計画は共有するものですが、身近なものでなければならぬと、考えています。

最後に、新たな総合計画策定に向けて、「町長と語ろう」などのさまざまな機会において、皆さんにも「どんな町にしたいか」「そのため何をすればよいか」などの点について、これから広くご意見をいただき議論を交わしていきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願ひします。